

感染症の集団発生を最小限に抑えるために ～感染症神戸モデルにおける感染症発生状況連絡アプリの導入に関するお願い～

平素より、感染症対策のため地域連携・早期探知（感染症神戸モデル）にご協力いただき、ありがとうございます。

神戸市では、平常時から施設内の感染拡大予防対策に関して施設・事業所の皆様と共に考え、複数の有症状者が出た際も早期の段階で情報提供をいただき、感染症を広げないよう取り組んでいるところです。

この度は、感染症神戸モデルの取り組みを経年的に評価できるようにデータ化をするため、感染症発生状況連絡アプリを導入することになりました。

今後、感染症が疑われる患者が発生した際には別紙のマニュアルをご参照いただき、感染症発生状況連絡アプリでご報告ください。（現在、FAX いただいている発生状況連絡票は不要となります）

ご報告方法の変更に伴い、ご迷惑とご不便をおかけしますが、ご協力よろしくお願いいたします。

<感染症発生状況連絡アプリの導入>

導入準備

(1) 施設情報入力（マニュアル2ページ）

- ・マニュアルの URL に接続し、施設の基本情報を入力する。
- ・登録後に入力したメールアドレスに「施設番号」が通知されるので、保存しておく。

患者発生時

(2) 感染症発生状況連絡アプリで報告（マニュアル4ページ）

- ・施設内で同じ症状の方が2名以上発生した際に必要事項を入力し報告する。
- ・新型コロナウイルス感染症は1名の発生から報告する。

※ アプリでの報告が難しい場合は従来通り FAX の送付が可能です。随時移行をお願いします。

平常時

(3) 感染症対策チェックアプリ（マニュアル8ページ）

- ※ 「新型コロナウイルス感染症拡大防止チェックシート」の入力フォームです。
今後は保健所への FAX 送付が不要となります。

(4) 感染症訪問指導員巡回訪問アンケート（マニュアル10ページ）

- ※ 令和3年6月以降、感染症訪問指導員の訪問を受けた施設はご意見をください。

【問い合わせ先】

神戸市保健所保健課 感染症担当
TEL 078-322-6789

感染症早期探知地域連携システム（感染症神戸モデル）について

1 創設の経緯

2009年5月新型インフルエンザ発生後の検証にて、以下3つの提言がなされました。

- ① 感染症の発生を早期探知するしくみが必要。
- ② 感染症早期探知・感染拡大防止には、区役所と地域（学校園・社会福祉施設・医療機関等）とのネットワークの構築が必要。
- ③ 地域組織の自助力・共助力の向上が必要。

上記の提言を受け、2009年9月「感染症早期探知地域連携システム（感染症神戸モデル）」が創設されました。

2 目的

保健センターと地域（学校園、社会福祉施設、医療機関等）が連携してネットワークを築き、感染症発生の早期探知と迅速な対応によって、感染拡大を防止し、地域全体で感染症に関する対応力を向上していきます。

3 活動の実際

1) 地域連携（地域巡回・感染症対策講座）

- ・ 学校園、社会福祉施設等を巡回し、顔の見える関係を作り、平常時から感染予防対策について連携を図ります。
- ・ 感染症対策講座において施設の実務者へ実習を含む研修を実施し、人材育成を図ります。
- ・ 地域の感染症の動向について情報を共有します。

2) 早期探知

複数の発熱や嘔吐・下痢、皮膚異常やインフルエンザ等の感染症が集団発生する前に情報共有・協議させていただき、感染症の拡大防止にむけて対策を講じます。

※集団発生基準「発生から1週間以内で10人以上」又は「期間に関係なく20名以上」

<感染症神戸モデルのしくみ>

